

# 1200万署名・NPT代表派遣 News

発行:原水爆禁止日本協議会 電話:03 5842 6031 FAX:03 5842 6033

Eメール antiatom55@hotmail.com 2009年11月16日 No.15 NPTまであと167日

関東甲信越ブロック  
原水協学校

## 知は力。署名の飛躍へ 各地のとりくみを交流



11月14、15両日、栃木県の鬼怒川温泉で関東甲信越ブロック原水協学校が開かれました。初日は、安井正和日本原水協事務局次長が「NPTまであと169日、1200万署名達成のために」をテーマに講演。NPT再検討会議に向けての情勢の特徴について、オバマ大統領のプラハ演説、国連安保理決議、国連総会第1委員会の決議状況などをふまえて報告。NPT条約とは?次回再検討会議の議題についても紹介。続いて1200万署名の達成にむけて、過去の署名運動の教訓、全国のとりくみの経験を紹介しながら、当面のポイントについて提起しました。

2日目は、神奈川県原水協の永沢丈夫事務局長が「横須賀・増大する原子力基地化の動きと核持ち込みの危険 これを取り除く原水協運動の任務」をテーマに講演をおこないました。

講演後、署名推進をテーマに参加者の自由な意見交換。「オバマ大統領の名前をよく聞くが、そういう特別な人が歴史をつくるのではなく、核兵器をなくしたいというよびかけに応じて、行動する何千、何万の普通の人たちなんだということを学ぶことができ確信をもてた」「市長、議長、教育長が署名をしているので、自治会長や商工会議所などに思い切って足を運び、ポスターやチラシを作って市民によびかける計画を決めた」「オリジナルの募金袋を作ってNPT派遣募金を集めている」など積極的な発言が出され、全国交流集会の成功を誓い合いました。

### 署名推進やNPT派遣で懇談 東京自治労連

11月12日、東京原水協の石村事務局長と、日本原水協の田中章史事務局長は、東京自治労連を訪ね、吉川書記長、喜入担当書記と、署名推進や自治体ぐるみのとりくみについて要請、懇談しました。

NPT派遣については、100人を超えた「おきプロ」参加者から20人以上の青年を出したい。受けとめもよく20人以上の可能性が出ている。1月には結団式のような集まりを持ち、毎月1回学習会を行ってニューヨークにつなげたいと話されました。

署名については、東京自治労連として今年の春闘では憲法署名付きのはがきを90万枚作成、地域で配布し、7000筆に届く署名が返ってきていることなどの経験をもとに、年末に向けて組合員と家族の署名を集めたい。また、来春闘ではNPT派遣と署名も4つの重点課題のひとつに位置づけたとりくみを全国の教訓にも学んですすめるため、12月11~12日の春闘討論集会でも議論したい。自治体ぐるみの署名のとりくみについても是非実現したいので三多摩でひとつでも具体化できるように地域の原水協とも一緒にとりくみたい。と有意義な懇談となりました。

派遣法署名とあわせ労組訪問 徳島県労連  
徳島県労連は11月17日、県内の労組訪問を計画しています。各単産の代表12~13人が手分けして県内の労働組合を回るものです。森口英昭事務局長は、「昨年は働くルール署名と憲法署名を持って回り、署名が返ってきました。今年は労働者派遣法の早期抜本改正を求める国会請願署名と春闘アンケートと合わせて核兵器のない世界署名をもって回ることにしています。1日で20カ所程度の組合を回って訴えてきます。12月にも同様の要請行動も予定しています」と話しています。



最新情報はコチラ 原水協通信 blog | <http://www.antiatom.org/g-news/>  
携帯電話からもアクセスできます。